

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 東京応化工業株式会社
 コード番号 4186 URL <http://www.tok.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 村上 裕一

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 044-435-3000

平成21年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	32,570	△33.9	△794	—	△727	—	△689	—
21年3月期第2四半期	49,240	—	3,145	—	3,382	—	945	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△15.31	—
21年3月期第2四半期	20.56	20.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	139,252	117,771	83.4	2,579.40
21年3月期	139,338	118,377	83.7	2,591.43

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 116,091百万円 21年3月期 116,633百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	17.00	35.00
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△16.4	△600	—	△100	—	△300	—	△6.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	46,600,000株	21年3月期	46,600,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,593,062株	21年3月期	1,592,767株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	45,007,007株	21年3月期第2四半期	45,988,266株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の持ち直しにより生産の下げ止まりが見られ最悪の局面から脱しつつあります。しかしながら、雇用・所得環境が厳しさを増すなど本格的な景気回復への兆しが見えない状況が続いております。

このような情勢の下、当企業集団は、業績の回復を最優先課題と認識し、事業構造改革を断行し経費削減を図ってまいりました。また、材料事業では、半導体市場、液晶ディスプレイ市場での在庫調整の一巡から順調に推移いたしました。装置事業において、ユーザーでの設備投資抑制の影響等もあり厳しい状況となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は325億7千万円（前年同期比33.9%減）、営業損失7億94百万円（前年同期は営業利益31億45百万円）、経常損失7億27百万円（前年同期は経常利益33億82百万円）、四半期純損失6億89百万円（前年同期は四半期純利益9億45百万円）となりました。

また、部門別の概況につきましては以下のとおりとなっております。

(1) 材料事業

エレクトロニクス機能材料部門は、半導体用フォトレジスト、液晶ディスプレイ用フォトレジストとも需要回復の兆しが見られましたものの需要はまだ前年同期の水準には至らず、当部門の売上高は193億18百万円（前年同期比28.7%減）となりました。

高純度化学薬品部門におきましても、復調の兆しはあるものの本格的な回復には至らず、当部門の売上高は101億円（同28.4%減）となりました。

印刷材料部門では、需要低迷等の影響から低調に推移し、当部門の売上高は16億15百万円（同20.5%減）となりました。

この結果、材料事業の売上高は310億62百万円（同28.3%減）、営業利益は22億61百万円（同60.1%減）となりました。

（単位：百万円）

	前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減率
売上高	43,299	31,062	△28.3%
営業利益	5,670	2,261	△60.1%

(2) 装置事業

プロセス機器部門は、ユーザーにおける設備投資抑制の影響から受注の減少ならびに検収の遅延等により、売上は前年同期を大きく下回りました。

この結果、装置事業の売上高は15億45百万円（同74.1%減）、営業損失は前年同期比8億34百万円悪化し11億2千万円となりました。

（単位：百万円）

	前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減率
売上高	5,975	1,545	△74.1%
営業損失	△285	△1,120	—

なお、セグメント間の取引につきましては、相殺消去しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,392億52百万円で、前連結会計年度末に比べ86百万円減少いたしました。

流動資産は19億74百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金が30億円増加したものの、現金及び預金が42億34百万円、未収法人税の減少等によりその他が8億53百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定資産につきましては18億88百万円増加いたしました。これは減価償却の進行等により有形固定資産が14億96百万円、無形固定資産が1億37百万円それぞれ減少したものの、長期預金が20億円、株式の時価上昇や長期前払

費用の増加等により投資その他の資産のその他が16億67百万円増加したことが主な要因であります。

負債合計は、214億81百万円で、前連結会計年度末に比べ5億2千万円増加いたしました。これは退職給付引当金が1億28百万円、賞与引当金が98百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が2億37百万円、前受金の増加等により流動負債のその他が6億61百万円増加したことが主な要因であります。

純資産合計は、1,177億71百万円で、前連結会計年度末に比べ6億6百万円減少いたしました。これは為替換算調整勘定が5億3千万円、その他有価証券評価差額金が3億81百万円それぞれ増加したものの、四半期純損失6億89百万円、配当金の支払7億65百万円があったことが主な要因であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は83.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失や売上債権の増加等がありましたものの、減価償却費や前受金の増加等により、前年同期に比べ78億85百万円減少の2億円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、長期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出等がありましたものの、定期預金の純減少により、前年同期の48億32百万円の資金投下から8億29百万円の資金収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、前年同期に比べ56百万円増加の9億4千万円の資金支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ2億円増加し246億58百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済の見通しにつきましては、生産や輸出に持ち直しの動きが見られ、最悪の局面から脱しつつある一方、依然として雇用・所得環境は厳しく、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような情勢の下、当企業集団といたしましては、業績の改善に向けて、引き続き緊急収益対策および事業構造改革の実施によるコスト削減に取り組んでいくとともに、新規事業領域での研究開発を加速させ、将来の成長が見込まれる新たな事業の創出と事業化に注力してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表いたしました数値を修正し、売上高700億円、営業損失6億円、経常損失1億円、当期純損失3億円を見込んでおります。

なお、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途公表しておりますので、ご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,848	40,082
受取手形及び売掛金	21,165	18,165
商品及び製品	12,020	10,542
仕掛品	4,020	4,797
原材料及び貯蔵品	3,115	3,683
その他	3,019	3,873
貸倒引当金	△497	△478
流動資産合計	78,693	80,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,718	18,147
その他（純額）	18,933	21,001
有形固定資産合計	37,652	39,148
無形固定資産	447	585
投資その他の資産		
長期預金	12,000	10,000
その他	11,278	9,611
貸倒引当金	△819	△674
投資その他の資産合計	22,459	18,937
固定資産合計	60,559	58,671
資産合計	139,252	139,338

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,444	7,207
未払法人税等	131	201
賞与引当金	1,255	1,353
その他	10,655	9,994
流動負債合計	19,487	18,755
固定負債		
退職給付引当金	1,183	1,312
その他	810	892
固定負債合計	1,994	2,205
負債合計	21,481	20,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207
利益剰余金	89,365	90,819
自己株式	△2,925	△2,925
株主資本合計	116,288	117,743
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,305	923
為替換算調整勘定	△1,502	△2,033
評価・換算差額等合計	△196	△1,109
少数株主持分	1,680	1,744
純資産合計	117,771	118,377
負債純資産合計	139,252	139,338

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	49,240	32,570
売上原価	34,402	23,775
売上総利益	14,837	8,794
販売費及び一般管理費	11,691	9,589
営業利益又は営業損失(△)	3,145	△794
営業外収益		
受取利息	127	94
助成金収入	—	83
その他	263	204
営業外収益合計	390	382
営業外費用		
為替差損	—	150
支払補償費	65	10
持分法による投資損失	58	—
租税公課	—	106
その他	30	46
営業外費用合計	153	314
経常利益又は経常損失(△)	3,382	△727
特別利益		
貸倒引当金戻入額	63	39
その他	9	0
特別利益合計	73	39
特別損失		
減損損失	444	—
たな卸資産評価損	327	—
割増退職金	—	331
その他	82	71
特別損失合計	853	402
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,602	△1,090
法人税、住民税及び事業税	942	55
過年度法人税等	551	—
法人税等調整額	40	△479
法人税等合計	1,533	△423
少数株主利益	122	22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	945	△689

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,602	△1,090
減価償却費	3,600	2,705
減損損失	444	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	144
賞与引当金の増減額(△は減少)	△67	△98
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15	△133
受取利息及び受取配当金	△198	△156
支払利息	12	—
為替差損益(△は益)	—	△229
売上債権の増減額(△は増加)	3,938	△2,905
たな卸資産の増減額(△は増加)	750	39
仕入債務の増減額(△は減少)	575	191
前受金の増減額(△は減少)	△2,118	1,664
その他	173	△897
小計	9,729	△768
利息及び配当金の受取額	172	133
利息の支払額	△8	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,256	841
過年度法人税等の支払額	△551	—
その他の支出	—	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,085	200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△292	4,607
有形固定資産の取得による支出	△2,894	△938
無形固定資産の取得による支出	△64	△73
長期預金の預入による支出	△1,500	△2,000
その他	△81	△765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,832	829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△842	△763
少数株主への配当金の支払額	△176	△190
自己株式の売却による収入	103	0
その他	31	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△883	△940
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161	110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,208	200
現金及び現金同等物の期首残高	19,539	24,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,748	24,658

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位: 百万円)

	材料事業	装置事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	43,299	5,940	49,240	—	49,240
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	35	35	(35)	—
計	43,299	5,975	49,275	(35)	49,240
営業利益又は営業損失 (△)	5,670	△285	5,385	(2,239)	3,145

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位: 百万円)

	材料事業	装置事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	31,062	1,508	32,570	—	32,570
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	37	37	(37)	—
計	31,062	1,545	32,607	(37)	32,570
営業利益又は営業損失 (△)	2,261	△1,120	1,141	(1,935)	△794

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主な製品

事業区分	主な製品
材料事業	エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品、印刷材料
装置事業	液晶パネル製造装置、半導体製造装置

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,821	4,008	3,114	6,295	49,240	—	49,240
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	5,727	702	19	202	6,652	(6,652)	—
計	41,549	4,710	3,134	6,498	55,892	(6,652)	49,240
営業利益	2,344	534	100	508	3,488	(342)	3,145

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	24,054	2,602	2,337	3,576	32,570	—	32,570
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	4,762	738	10	201	5,713	(5,713)	—
計	28,816	3,340	2,347	3,777	38,283	(5,713)	32,570
営業利益又は営業損失（△）	△615	47	△45	36	△576	(218)	△794

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国または地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・イタリア、オランダ

(3) アジア・・・大韓民国、台湾、中華人民共和国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,358	3,084	22,533	172	30,148
II 連結売上高（百万円）					49,240
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.8	6.3	45.8	0.3	61.2

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,771	1,853	13,702	104	18,432
II 連結売上高（百万円）					32,570
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.5	5.7	42.1	0.3	56.6

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国、カナダ

(2) 欧州・・・フランス、イタリア、オランダ、ドイツ、アイルランド

(3) アジア・・・大韓民国、台湾、中華人民共和国、シンガポール、イスラエル

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。